

お さ き て ん じ ん し た こ ぶ ん
尾崎天神下古墳

●所在地／尾崎 ●所有者／個人

尾崎天神下に所在する古墳である。直径9 m、高さ2 m強の円墳^{えんぶん}で、内部主体は横穴式石室^{よこあなしきせきしつ}である。残存する石室長は2 mで、比較的小さな川石で構築されている。天井石は安山岩^{あんざんがん}の柱状石である。墳丘も石室も半壊の状態であり、往時の姿をうかがうことは難しい。石室からは、かつて須恵器^{すえき}が2個出土したといわれているが、その所在は不明である。

伊予市内でも最も一般的な群集墳^{ぐんしゅうふん}の小古墳の一つといえる。時期は古墳時代後期末と推定される。

